



福島復興と廃炉に取り組む方への感謝と敬意を
福島県双葉郡で次世代に残せる“ふるさと”を創造する

一般社団法人 AFW について

Appreciate FUKUSHIMA Workers は、任意団体として 2013 年の設立以来、福島県双葉郡を中心に次世代に託すことの出来る“ふるさと”の創造と東京電力福島第一原子力発電所の廃炉と共にある旧避難地域での暮らしと向き合うことを目的に情報発信や現地ガイド、講演会等の活動を行って参りました。Appreciate FUKUSHIMA Workers での活動を引き継ぎ、福島県浜通り地方における復興活動の更なる推進と旧避難地域での暮らしにおける福島第一原発に対するリテラシーの更なる向上を目的に一般社団法人 AFW を設立致しました。

一般社団法人 AFW では、暮らしの視点で廃炉と向き合うための基礎知識を共有する「学習支援」、旧原発事故避難地域の帰還と定住人口増加のために地場産業を支援する「地場産業支援」、福島第一原発に対するリテラシーの向上を目的とした「現地ガイド」、福島県浜通り地方の復興状況や福島第一原子力発電所における廃炉の情報を共有する「講演会」の 4 つの取り組みを主軸とする活動を行い、情報の発信と共有を通じて社会的貢献を行っています。

■「一般社団法人 AFW」組織概要

法人名 一般社団法人 AFW (エーエフダブリュー)
代表理事 吉川彰浩
理事 森田栄一
所在地 福島県双葉郡広野町下北迫西町 21 番地
WEB サイト <http://a-f-w.org>

お問い合わせ先：

一般社団法人 AFW 代表 吉川彰浩

TEL : 090-7421-6157 Email : yoshikawa@a-f-w.org

一般社団法人 AFW 4 つの取り組み

学習支援

福島第一原発に関する様々な不安について、近隣に住む住民が自らの言葉で説明できるよう支援します。福島第一原子力発電所の廃炉取組情報を東京電力から入手し、代表の吉川彰浩が視察で得た知見と福島第一原子力発電所の保守管理に携わった経験を併せた学習会を行います。また、専門知識を必要とする皆様（メディア、地域行政、復興事業者）に向けて、廃炉の取組や原子力発電所の仕組みや設備、扱われる専門用語をレクチャーする等、目的に応じた学習会を行います。



地場産業支援

原発事故により被災した地域に暮らす方々が望む復興を支援する活動を行います。福島第一原子力発電所の廃炉が終わった後、地域の方が未来を描ける取り組みを、住民の方と一緒に取り組みます。現在は、広野町でオリーブ普及に取り組む「ひろのオリーブ村」への活動普及支援や、広野町上浅見川籌平地区の里山再生事業への支援を行っています。



現地ガイド

現在、福島県浜通り地方では、様々な現地ガイドの取り組みが行われていますが、一般社団法人 AFW のガイドは、代表が元東京電力社員であることから「原発作業員」としての視点が含まれている点が特徴です。また、代表も浪江町から避難生活をしているため、「原発作業員」と「避難生活」の二つの立場からの視点で語られる現地ガイドは、訪れる皆さんに多くの気づきをご提供します。



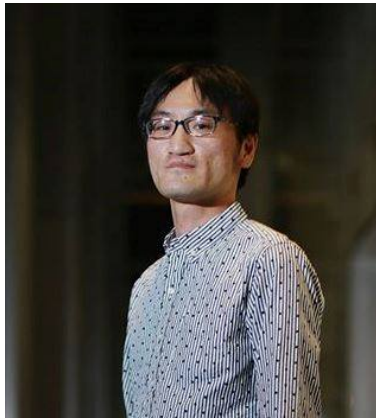
講演会

日々の活動で自分達が得た一次情報をもとに講演会を行います。私達の活動は避難区域と共にあります。メディアの情報だけが実情ではありません。代表が原発事故による避難生活者であること、東京電力社員当時、福島第二原発の復興に携わっていたことから、両方の視点での講演を行っています。福島第一原発の実情については、福島第一原発を視察し一次情報を自らが得た知見と、約 10 年福島第一原発で保守、現場管理を行ってきた経験を基に



講演を行います。

プロフィール：吉川彰浩（一般社団法人 AFW 代表理事）



東電学園高等部卒（1999 年）、高等部時代は原子力・火力コースを選択。卒業後、福島第一原子力発電所に配属。福島県双葉郡双葉町に住む。1 年間の当直員（操作員）の研修後、保全部環境施設 G r へ配属。環境施設 G r では各号機の廃棄物処理建屋と集中環境施設建屋の保守管理・現場監理に従事。2008 年、福島第二原子力発電所へ転勤。福島県双葉郡浪江町に住む。業務は集中環境施設建屋（廃棄物処理、焼却設備）の保守管理を担当。震災時は福島第二原子力発電所で被災。震災後の復旧業務は福島第二原子力発電所で行う。

2012 年 6 月に東京電力を退職後、2013 年 11 月に Appreciate FUKUSHIMA Workers を設立して代表に就任。2015 年 7 月には、Appreciate FUKUSHIMA Workers を法人化した一般社団法人 AFW を設立。現在は福島原発で働く人達の実情を自身の経験を基に講演会で伝えている。活動の趣旨は原発事故被災地域の次世代に託せる復興支援。ハフィントンポスト日本版、Yahoo ニュース（個人）で福島県双葉郡に関する様々な情報発信を行っている。

◎ハフィントンポスト日本版：<http://www.huffingtonpost.jp/akihiro-yoshikawa/>

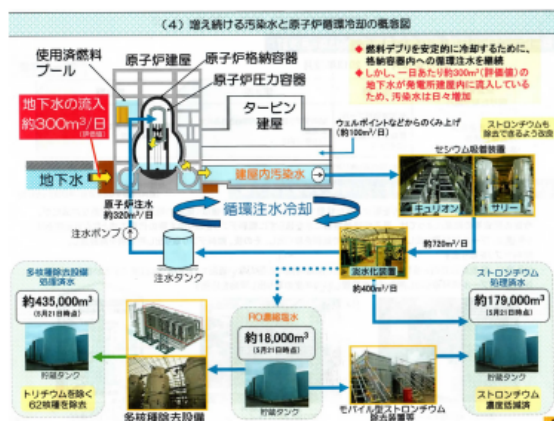
◎Yahoo ニュース（個人）：<http://bylines.news.yahoo.co.jp/yoshikawaakihiro/>

暮らしの視点で行う福島第一原発廃炉の現状学習会

机上の学習と福島第一原発視察を行っています

原発事故後、浜通りは“ふるさと”を愛する方々の多種多様な取組により、一步一步復興の歩みを進めています。その歩みは廃炉と隣り合う暮らしの中で行われています。その暮らしの中で、私達は福島第一原発を正しく知れているか？と問われれば、自信を持って答えられる状況にはありません。その原因は、廃炉を知れる学べる環境が今もない事が原因です。私達一般社団A F Wは、原発事故後の“ふるさと”を創りあげて行く方々が、廃炉と共存できるようサポートする団体です。それは廃炉の現状を伝えるだけでなく、同じ浜通りで暮らす「作業員」の方々の実情もお伝えしています。

1. 福島第一原発の廃炉への取組 勉強会



2. 福島第一原発の視察

